

知っておくと役に立つお金のあれこれ

第1回 一生にかかるお金ってどれくらい？

人生の3大支出は

①教育資金 ②住宅資金 ③老後資金

この3つがどのくらいかかるかによって人生の収支は大きく変わります。

①教育資金と②住宅資金は、人によって、額も時期も異なります。対して、どんな人にも必要になってくるのが、③老後資金です。

一般的に、サラリーマンの生涯年収(男性の場合)は2億円~2億5000万円程度といわれています。その内、現役時代の生活にかかるお金は2億円程度。入ってきたお金を何にどう使うかによって収支バランスが変わります。

安心して老後を迎えられるよう、若いうちからしっかり貯蓄していくことが重要です。また、自分がどんな人生を送りたいかを考え、そのために必要なお金を知っておくことも大切です。

大きな支出



出産費用

結婚費用

住宅購入の頭金②

車の購入費用

子の大学入学費用①

子の結婚費用

家のリフォーム費用②

③介護費用

年金では不足する生活費の補填分

生活にまつわる費用(状況によって増減)

子育て・教育費①

住宅ローン②

老後費用③

POINT

- 子どもの有無や人数、家を買うかどうかによって大きく変化する

→①教育資金、②住宅資金の必要性

収入

労働による報酬
(徐々に上がっていくとは限らない)

POINT

- リタイア後は収入が大きく減少する
- 定年退職から年金受給まで、無収入になる可能性がある

→③老後資金の必要性

退職金

無収入に!?

収入がダウン

年金では足りない

(減額、支給開始年齢引き上げの可能性も)

20歳
30歳
40歳
50歳
60歳
70歳
80歳

